

里山里海の資源活用を

輪島 ビジネス化へセミナー

輪島市6次産業化推進実行委員会と日本食農連携機構（東京）の「奥能登地域おこしセミナー」は19日、同市町野町の平家の郷・松尾家で開かれ、約40人が能登の里山里海の資源を加速させ、能登の

深めた。

コメや魚、野菜をブランド化して各店に供給する戦略を説明した。昨夏、輪島市で開講した輪島里山里海塾のビジネス創出を支援する日本食農連携機構の増田謙夫理事長はパローとの協力態勢づくりへ輪島市などの生産、加工グループが供給能力

を高められるよう後押しする考え方を示した。20日は市内で商談会が開かれる。